北坂戸ファミリークリニック通信 vol.005

居宅療養支援診療所
北坂戸ファミリークリニック

第5回北坂戸ファミリークリニック　地域連携セミナー

2017年9月25日　坂戸文化施設オルモで「第5回北坂戸ファミリークリニック　地域連携セミナー」を開催いたしました。お忙しい中20名以上の方にご参加いただきました。
今回は、当院の野口哲先生と、製薬会社GSK（グラクソ･スミスクライン）様に講演いただきました。
　野口先生には、高齢者に多い肺疾患、【喘息とCOPD(慢性閉塞性肺疾患)】について講演していただき、喘息とCOPDの違いについてや、COPDの原因、COPDが引き起こすQOLの低下等についてお話しいただきました。
また、製薬会社GSK様からは、基本的な吸入器の使用方法を参加者様に実際の吸入器を触ってもらいながら解説していただきました。
　在宅診療は、ケアマネジャーをはじめ、さまざまな事業所、業者がかかわることで成り立つものだと思います。今回は、地域の役に立てられるなら、とGSK様が本セミナーに参加していただけました。当院としても、製薬会社が地域の事業所と繋がりを持つことで、在宅医療での連携がより密になるのではと考えております。
　次回は、１１月中旬を予定しておりますので、皆様ぜひご参加いただけると幸いです。

アンケートの声

☆今回ご参加いただきました皆様の
ご感想やご意見を紹介します☆

≪セミナーについて≫
・喘息とCOPDの違いが理解でき、勉強になりました。
→セミナー内では、喘息、COPDについて炎症箇所の違いや、原因の違いをお話ししていました。
・呼吸リハビリについての内容を詳しくお伺いしたかったです。
→ご希望の情報を提供できず申し訳ありませんでした。今後、呼吸リハビリのセミナーも開催できるように対応したいと思います。そのほか、こんなテーマのセミナーに参加したいというものがあれば、ご協力させていただきますので、ご遠慮なく連絡いただければと思います。

セミナーの様子

≪吸入器の使用方法、製薬会社との共同セミナーについて≫
・吸入器の使用方法は、若い方でも使い方が難しいように思う。
ピットホールについては、高齢者の方は理解できるのか…
・吸入器に使用方法については、いまいち理解できなかった。
→練習機や動画を用いて説明いたしましたが、なかなか若い方でも使い方が難しいようです。今回の意見は、GSK様にもお伝えして今後の参考にしていただきます。
・吸入器を使用している利用者も多くいるので、製薬会社との共同セミナーも利点が多いと感じました。
→今後は、製薬会社さんだけではなく、さまざまの業種の方をお招きして、皆様の知りたい、聞きたい情報を提供していきたいと考えています。

≪その他のご意見≫
・セミナーの開催時間を業務時間外だと参加しやすい。
→今回は、先生の勤務の都合上15時からとなりましたが、今後は、遅めの時間からの開催も検討していきたいと思います。

地域連携担当の紹介

地域連携担当
村上　敬司

初めまして、北坂戸ファミリークリニックの地域連携担当の村上敬司です。
今年の４月から、北坂戸ファミリークリニックの地域連携として勤務しております。以前は、大阪で在宅診療クリニックの事務長として勤務しておりました。
地域の患者様が在宅で療養できるように努めて参ります。

前職は、美容コンサルタントとして化粧品や健康食品、接客の講師もしておりましたので、在宅診療だけでなく美容や健康に関してもお力添えができればと思います。

聞きなれない関西弁ですいませんが、よろしくお願いします。

秋から冬にかけて流行する、RSウィルス感染症とは？？

〈どんな病気？〉
RSウィルスは、毎年秋から冬にかけて流行する「呼吸器感染症」です。
気道に感染して、のどや鼻の粘膜を破壊してしまいます。そこから肺炎球菌などの２次感染を引き起こし最悪の場合には、死に至る場合もあります。生後２年までの間に１度は感染する確率があり、１度かかっても抗体はできなので、何度もかかってしまう場合があります。
成人の方でしたら、抵抗力もあり軽度の症状で軽快しますが、高齢者の方は抵抗力の低下していることも多いので、注意が必要です。

〈どんな症状？〉
感染後4～5日の潜伏期間があり、鼻水・咳・発熱等の上気道炎(風邪)の症状が現れます。
通常は、数日～1週間程度で軽快しますが、心肺に基礎疾患がある方は重症化するケースがあります。

〈治療方法は？〉
対症療法が主流になりますので、解熱剤(アセトアミノフェン)の使用、冷却、鎮咳去痰薬、気管支拡張剤等の使用を行います。

〈RSウィルス感染症の対策!!〉
RSウィルスは、飛沫感染、接触により感染します。なので、RSウィルス感染症の方と接触した際は、痰や唾液に注意し、手洗い、うがい、マスクの着用を励行してください。
RSウィルスは、さまざまな消毒薬に対する抵抗性が弱いウィルスです。普段からの手洗い、うがいはもちろん、アルコール消毒も大切です。

今回は、小児、高齢者の方に危険なRSウィルスの紹介をしました。
皆様、普段から高齢者の方と接触する機会が多いかと思いますので、ご自身の健康、安全に加えて、高齢者の方への予防にも、ご留意いただければと思います。

最後までお読みいただきまして、ありがとうございました。
また、今後の要望等ございましたら、下記連絡先に電話又はFAX等でご連絡ください。
地域の相談窓口として、セミナーへの要望・業務での疑問でも結構ですので、お気軽にご連絡ください。

北坂戸ファミリークリニック　〒350-0229　埼玉県坂戸市薬師町3-2　TEL:049-280-8080 FAX:049-210-3812